

平成21年度上半期のご報告

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

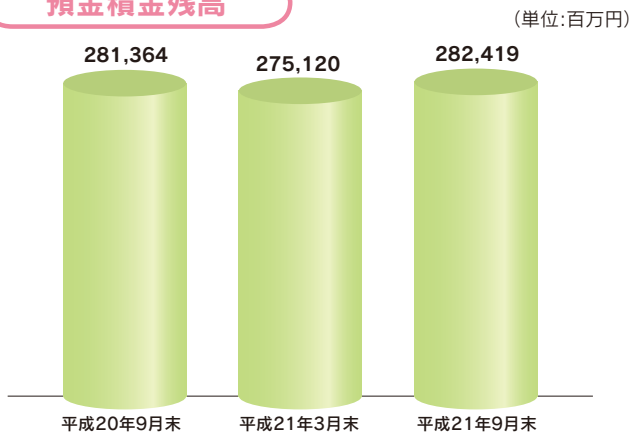
平成21年度上半期 業績のご報告

預金・貸出金

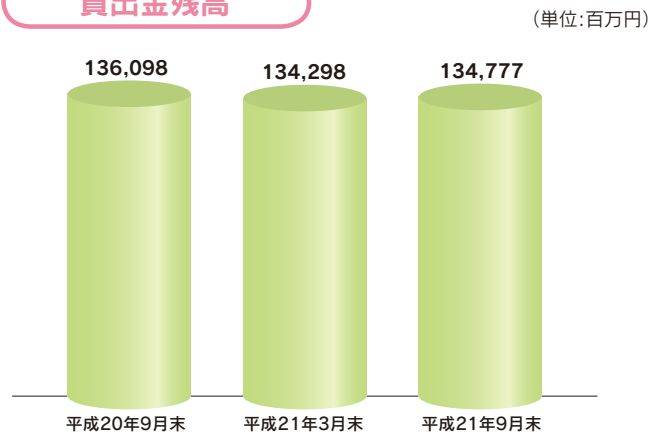
地域のお客さまのニーズにお応えするために「エコ定期」などの商品提供に積極的に取り組んだ結果、預金積金残高は個人および法人ともに順調に増加し、前年度末比72億99百万円増加の2,824億19百万円となりました。このうち個人預金は2,446億53百万円となりました。貸出金残高は、地域への円滑な資金供給を図るための取り組みを強化した結果、前年度末比4億79百万円増加し1,347億77百万円となりました。

今後とも地元事業者の皆さまや個人のお客さまの資金ニーズにお応えするため最適な商品をご提案してまいります。

預金積金残高

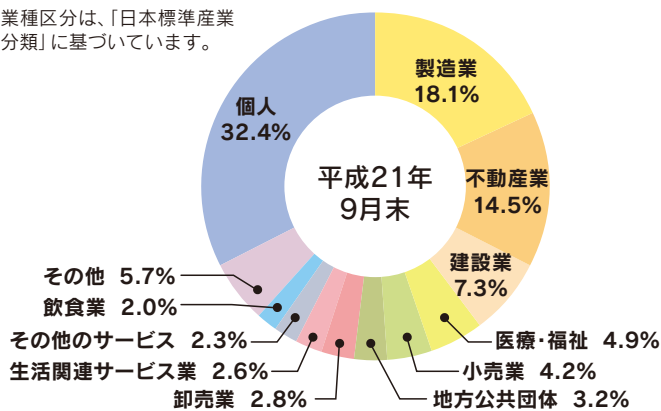


貸出金残高

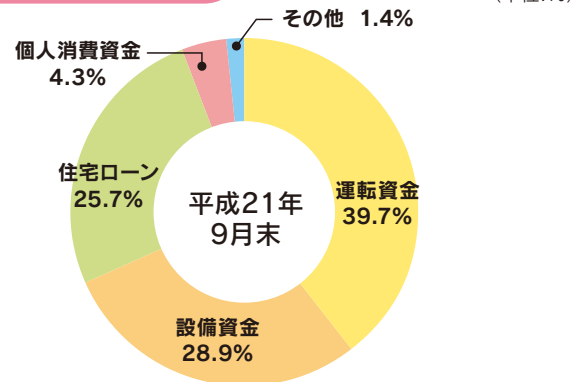


貸出金業種別内訳

業種区分は、「日本標準産業分類」に基づいています。



貸出金用途別内訳



損益の状況

平成21年9月期の業務純益は3億48百万円、経常利益は2億24百万円、当期純利益は2億92百万円となり、安定した収益を確保することができました。

(単位:百万円)

	平成20年度		平成21年9月期 (半期)
	平成20年9月期 (半期)	平成21年3月期 (通期)	
業務純益	546	1,210	348
経常利益 (△は損失)	△140	246	224
当期純利益 (△は損失)	△159	241	292

(注) 平成20年9月期および平成21年9月期は4月から9月までの6カ月の計数です。

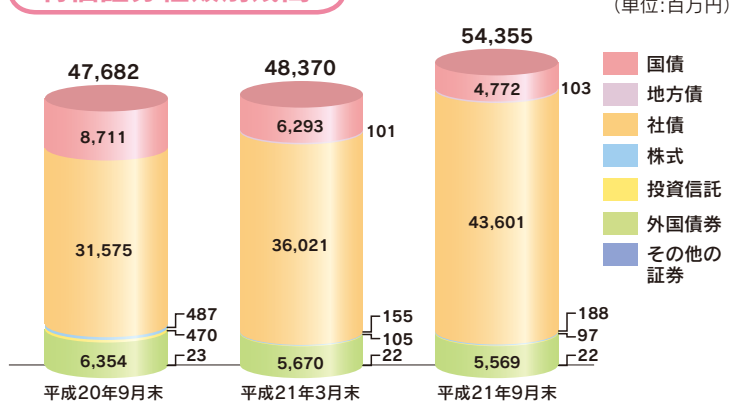
有価証券

お客さまからお預かりした大切な資金(預金積金)は、地域の皆さまにご融資しているほか、信金中央金庫等への預け金や有価証券によって運用しています。

有価証券は、安全性と流動性を念頭に置き、各種リスクに十分配慮したうえで、安定的な収益を確保するため、債券を中心とした運用を行っています。

有価証券残高は、預金積金の順調な増加により、前年度末比59億85百万円増加し543億55百万円となりました。

有価証券種類別残高



有価証券の時価情報

満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	平成21年3月末					平成21年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損
国債	199	207	7	7	-	199	209	9	9	-
外国債券	3,800	3,315	△484	-	484	3,700	3,267	△432	3	435
合計	3,999	3,522	△476	7	484	3,899	3,476	△423	12	435

その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	平成21年3月末					平成21年9月末				
	取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損	取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
株式(上場)	126	111	△15	3	19	144	144	0	7	8
国内債券	42,194	42,216	22	188	165	47,869	48,277	407	495	87
国債	6,025	6,093	68	73	5	4,453	4,572	119	119	-
地方債	99	101	1	1	-	99	103	3	3	-
社債	36,068	36,021	△47	113	160	43,316	43,601	285	373	87
外国債券	2,000	1,870	△129	-	129	2,000	1,869	△130	1	131
その他(投信)	120	105	△15	-	15	120	97	△22	-	22
合計	44,441	44,303	△137	192	329	50,135	50,389	254	504	250

時価のない有価証券の内容と貸借対照表額

(単位:百万円)

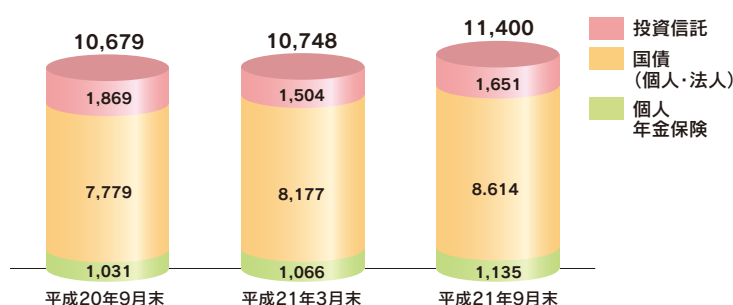
	平成21年3月末		平成21年9月末	
	その他有価証券	66	65	
非上場株式		44		43
その他の証券		22		22

預かり資産

金融市場の混乱による運用環境の悪化などもありましたが、預かり資産残高は個人向け国債を中心として前年度末比6億52百万円増加し114億円となりました。

預かり資産種類別残高

(単位:百万円)



経営の改善

自己資本比率は9.32%と十分な健全性・安全性を示しています

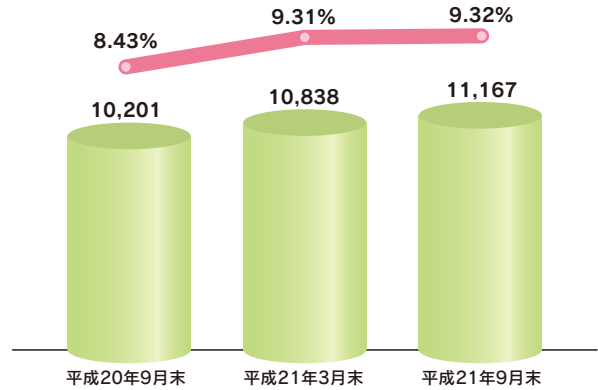
自己資本比率はリスクが発生する可能性のある資産（リスクアセット等）に対する自己資本の額の比率であり、金融機関の健全性や安全性を計る重要な指標のひとつです。

自己資本比率は前年度末比0.01ポイント向上し9.32%となり、国内業務を行う金融機関に必要とされる4%を大きく上回っています。

また、自己資本額は前年度末より3億29百万円増加し111億67百万円となりました。

自己資本比率と自己資本額

(単位:百万円)



自己資本の構成

(単位:百万円)

	平成21年3月末	平成21年9月末
基本的項目 (Tier 1) の額	10,005	10,304
自己資本の額 (Tier 1 + 補完的項目 - 控除項目)	10,838	11,167
リスクアセット (リスクがある資産の大きさに応じて0%から100%までの掛け目をかけた合計)	116,360	119,794
総所要自己資本額 (リスクアセット×4%)	4,654	4,791
自己資本比率 (自己資本の額÷リスクアセット)	9.31%	9.32%
基本的項目比率 (Tier 1÷リスクアセット)	8.59%	8.60%

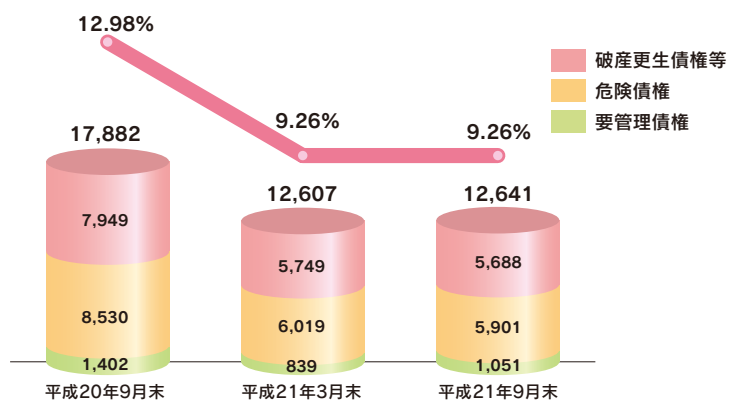
不良債権は減少しています (金融再生法ベースの債権区分による開示)

足利小山信用金庫は、資産の健全化を図るため、前年度に引き続き貸出先の実態を踏まえた適正かつ厳格な自己査定を実施し、不良債権の償却・引当を行うとともに、不良債権の新規発生防止に積極的に取り組んでいますが、お取引先の業況悪化等に伴い、平成21年9月末の金融再生法開示債権額は前年度比34百万円増加し126億41百万円となりました。

また、不良債権比率は前期末と変わらず9.26%となりました。

不良債権額と不良債権比率

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	平成21年3月末	平成21年9月末
金融再生法上の不良債権	12,607	12,641
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,749	5,688
危険債権	6,019	5,901
要管理債権	839	1,051
正常債権	123,486	123,845
合計	136,093	136,486

トピックス

環境問題への取り組み

足利小山信用金庫は自然環境の維持・改善に努める諸活動を展開しています。当上半期は、次の取り組みを行いました。

- 9月1日に小山市が制定している「小山市エコ・リサイクル推進事業所認定制度」において、3つ星ランク（最高位）に認定されました。昨年6月の2つ星ランク認定後も、引き続き積極的な環境保全活動に取り組んだことが評価されました。
- 6月、「エコ定期」を発売し、2,395名のお客さまから募集予定額を上回る23億85百万円をお預け入れいただきました。また、回収したペットボトルキャップの売却益はNPO法人「世界の子供にワクチンを日本委員会」に寄贈しました。
- 6月1日から9月30日の間、クールビズを実施し、「ノーネクタイ・上着なし」で接客を行いました。

信用金庫の日にクリーン作戦

「信用金庫の日」である6月15日の朝、当金庫全店で店舗周辺の道路・歩道等の清掃を行いました。



しんきん経営塾ビジネスサービスを新展開

10月1日にしんきん経営塾ビジネスサービスを開始しました。

しんきん経営塾ビジネスサービスは、「支援と絆」をキーワードに次世代を担う経営者、後継者、経営幹部の方々に対して、研鑽と交流の場をご提供します。

- インターネットによる経営支援
- インターネットによる会員同士の交流
- 経営セミナーによる経営支援

(ご入会方法等のお問い合わせ先)

しんきん経営塾 事務局 TEL: 0285-23-3900



上半期の新商品

●「子育て応援プラン」の取扱開始

7月13日から、出産・子育て家族を対象として一般個人向けローンよりも保証料を引き下げた融資商品「子育て応援プラン」を取扱開始しました。

育児用品購入資金や出産費用、保育園・幼稚園費用などご利用いただけます。

●「個人型確定拠出年金(401K)」の取扱開始

7月21日から、コンサルティングプラザが営業店と協力して、個人・企業へ発売しています。401Kは、自営業者の方や企業年金のない企業にお勤めの方などを対象とする公的年金に上乘せする年金制度で、掛け金が全額所得控除になる等大きな税制メリットがある制度です。

●学資保険「夢みるこどもの学資保険」の取扱開始

10月1日に学資保険の取り扱いを開始しました。将来のお子さまの教育資金を計画的にご準備していただくため、高校入学時の「学資一時金」と、大学入学準備金および大学生活支援金として「学資年金」を4年間にわたりお支払いする保険です。

●「標準傷害保険」の取扱開始

10月1日に標準傷害保険の取り扱いを開始しました。保険料は契約者の年齢や職業、性別にかかわらず一律であり、ご契約タイプは個人型・夫婦型合わせて4パターンを設け、けがによる入金、通院、手術にかかる費用は事故日から1000日まで補償する、掛け捨て型の傷害保険です。

ホームページをリニューアル

ホームページを一新しました。より見やすく、検索しやすくなりましたので、ぜひご参照ください。



コンサルティングプラザ

10月26日に「コンサルティングプラザ足利」をオープンしました。

コンサルティングプラザは昨年5月の小山に続く2店舗目であり、中小企業診断士の資格を有する職員やファイナンシャルプランナーが資産運用や相続、事業承継対策などのさまざまなご相談にお応えします。



コンサルティングプラザ足利



コンサルティングプラザ小山

●コンサルティングプラザ足利

住所 足利市今福町341-11 今福出張所内
TEL 0284-21-1117
営業時間 9:00～17:00
定休日 水・土・日・祝日

●コンサルティングプラザ小山

住所 小山市宮本町2-3-8 宮本町出張所内
TEL 0285-32-7103
営業時間 9:00～15:00
定休日 土・日・祝日

業務内容

- ・資産運用（投資信託・国債・個人年金保険など）に関するご提案
- ・相続対策に関するご相談
- ・事業承継対策やM&A、不動産有効活用などのご提案
- ・資産運用セミナーの開催 など

ローンプラザ

あなたのライフプランを提案します。

ローンプラザは土曜日および日曜日も営業しています。

営業種目 住宅ローン、住宅金融支援機構住宅資金、マイカーローン、教育ローン、日本政策金融公庫進学資金、その他消費者ローンの相談・申し込み

営業時間 (土・日を含む) 9:00～17:00
定休日 水曜日



ローンプラザ足利

足利市今福町341-11
(今福出張所内)
TEL: 0284-21-8142

ローンプラザ小山

小山市東城南5-6-11
(城南支店内)
TEL: 0285-31-0208



土曜窓口営業

城東支店は、土日も窓口を営業(9:00～12:00)しています。

格付け「★」

足利小山信用金庫は、格付機関である株式会社フィッチ・レーティングスから、信金財務力格付として「★(1つ星)」を得ています。また、今後も安定的な収益が見込まれることから、見直しは「安定的」となっています。



概要

本店所在地 〒326-0811 足利市井草町2407-1
出資金 10億69百万円
会員数 26,368名
常勤役職員数 347名
店舗数 26本支店5出張所

お問い合わせ先
足利小山信用金庫 経営企画部
TEL: 0284-21-8100 FAX: 0284-21-0576
<http://www.ashikagaoyamashinkin.co.jp/>

本資料に掲載されている平成20年9月期(末)および平成21年9月期(末)の計数につきましては、仮決算のため会計監査法人の監査を受けておりません。また、掲載している比率・金額は単位未満を切り捨てて表示しています。



本誌は、FSC認証紙を使用し、環境に配慮した植物性大豆インキを使用しています。